



令和 2 年 8 月 14 日  
公益財団法人東京都歴史文化財団  
アーツカウンシル東京

## アーツアカデミー2020

### 芸術文化創造活動の担い手のためのキャパシティビルディング講座 ～創造し続けていくために。芸術文化創造活動のための道すじを“磨く”～ 受講生募集のご案内

アーツカウンシル東京では、これからの時代の芸術文化の担い手を発掘、育成することを目的とした「アーツアカデミー事業」を実施しています。

2018年度からは、芸術文化創造活動の課題解決及び目標達成に必要な思考力やスキルを多面的に磨くキャパシティビルディング講座を開講しています。講師による実践的なレクチャーとディスカッション、課題解決戦略レポートの作成・発表が主なプログラムです。ここでは様々な分野で一定のキャリアを積んだ受講生が集い、互いに学び合うことで新しい視点を掴む場が生まれています。

2020年度は、大きく変容する世界において、「私たちはいかに創造し続けていけるか」という問いに向き合います。

なお、本年度は新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の状況を踏まえ、原則オンラインで実施します。

これからの芸術文化を創っていききたい意欲溢れるの方々のご応募をお待ちしております。

**【事業の詳細・応募要項など】** <https://www.artscouncil-tokyo.jp/ja/events/44204/>

#### 1 募集人数・対象

- (1) 16名から20名程度
- (2) 芸術文化領域において3年以上の活動経験のある制作者、研究者、プロデューサー、キュレーター、セルフマネージメントのアーティスト・表現者、及び芸術団体・アートNPOのコーディネーター、アートマネージャー、芸術文化支援団体のプログラムオフィサー等。(分野は問いません)

#### 2 事業内容

若林朋子氏と小川智紀氏をアドバイザー、ファシリテーターとして迎え、以下の2つの柱で全8回を構成します。新型コロナウイルス感染予防の観点により原則オンラインプログラムを予定しています。

※事業内容は状況により変更になる可能性があります。

主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京

- (1) 座学講座：全7回（下記参照）
- (2) 課題解決戦略レポートの作成と提出及びプレゼンテーション：1回（最終回）  
座学講座を通して得た知見をふまえて、受講生自らの活動の課題解決に資する戦略レポートを作成し提出、最終発表会にて発表していただきます。

STEP1：  
自らの活動に向き合う・課題／  
目標の確認・その言語化

STEP2：  
実践・自走する手段を考え、  
開発する

STEP3：  
社会とのつながりを再認識し、  
課題解決の手がかりを掴む

日時	テーマ	内容・ねらい	講師 (敬称略)
2020年 10月5日(月) 18時～22時 ①	つくりたいものをつくり続けるために ～思考と実践～	・イントロダクション（私たちが生きる社会と芸術文化の置かれた環境を俯瞰する） ・後半：主体的な創作をこつこつと続けていくために（仮） （自身を取り巻く創作環境と社会の把握について、講師の経験談等を通し学ぶ）	小川 智紀  深田 晃司
2020年 10月19日(月) 19時～21時30分 ②	ヴィジョン、ミッションを磨く ～受講生による課題・目標の提起と深堀り、共有機会の設定～	・活動・組織のヴィジョン、ミッションの棚おろしレクチャー&ワークショップ（創造活動を行う上での「戦略のフレームワーク」のインプット/ヴィジョン、ミッションの必要性の理解、課題とその改善策の深堀り、等）	山元 圭太
2020年 11月4日(水) 19時～21時30分 ③	活動の意義を伝える評価軸を磨く ～活動を振り返り、改善・変革していく術を磨く～	・評価の意義を理解する。 ・評価の全体像を捉え、手法や効果を目標共有、仲間づくりを含めた活動の継続的発展に生かす。 ・活動の価値を評価し可視化、言語化する技術を磨く。	源 由理子
2020年 11月18日(水) 19時～21時30分 ④	これからの活動のためのファンドレイジング力を磨く ～ファンドレイジングの理解と実践～	・文化セクターにおけるファンドレイジングの全体像を捉え、実践のあり方、工夫・発想の拡張を試みる。 ・財源の多様性や可能性を知る。 ・ファンドレイジングのための言語化能力のブラッシュアップ ・変容する社会の中でのファンドレイジングの可能性を探る、等	若林 朋子
2020年 12月2日(水) 19時～21時30分 ⑤	活動を持続させるための発想力を磨く ～持続可能性と創造的実践の多様性を知る～	・社会彫刻、サステナビリティ、パーマカルチャー等の概念を参照しながら、これからの創造性のあり方と発想の転換を知る。 ・アート、デザイン、活動、ビジネスまで多様な創造的実践の方法や作り方、伝え方を学び、これからの持続可能な創造の手段を探求する。	近藤ヒデノリ
2020年 12月16日(水) 19時～21時30分 ⑥	社会における芸術文化の必要性を考える ～芸術文化支援を鍵に、自立の在り方等を考える～	・「なぜ、社会にとって芸術文化が必要か」という問いについて考える。 ・法制度を含め創造活動を取り巻く環境を総体的に捉え、活動の価値を客観的に説明する力を磨く。 ・芸術文化支援の選択肢を知り、自立・自走の在り方も探求する。	片山 正夫
2021年 1月13日(水) 19時～21時30分 ⑦	芸術文化と社会の関わり方を磨く ～社会とのつながりを捉え、「接続」と「循環」を考える～	・芸術文化と社会の関わり方を更新し続けていくために、そのありよう(独自性と普遍性)について考える。 ・「文化生態系」の視点をヒントに、コロナ以降の時代で自身がどのような生態系を開拓し、新たな循環を生む「接続点」となり得るか探求する。	大澤 寅雄
2021年 2月24日(水) 17時～21時 ⑧	課題解決戦略レポートの最終発表会	・創造活動における課題解決の具体的な実装方法を提案、相互に思考を共有する。	若林 朋子 小川 智紀

## 【講師陣(敬称略)】



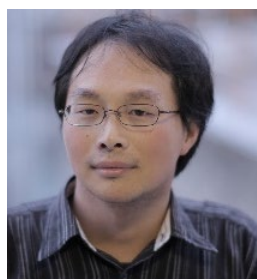
**小川智紀**

認定NPO法人STスポット横浜 理事長



**若林朋子**

撮影：安田有里 (C)Ko Na design  
プロジェクト・コーディネーター/  
立教大学大学院 21世紀社会デザイン  
研究科特任准教授



**深田晃司**

映画監督



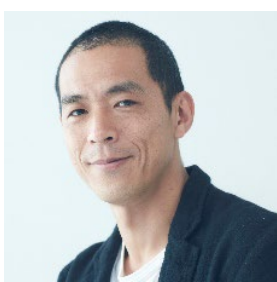
**山元圭太**

株式会社 Seventh Generation Project  
代表取締役 / NPO 法人日本ファン  
ディング協会理事・認定ファン  
ドレイザー / 島根県雲南市地方創生総合  
戦略推進アドバイザー



**源由理子**

明治大学公共政策大学院ガバナンス  
研究科・教授  
明治大学プログラム評価研究所・代表



**近藤ヒデノリ**

UNIVERSITY OF CREATIVITY (UoC)  
サステナビリティフィールド・ディレクター  
博報堂ブランドイノベーションデザイン局  
クリエイティブプロデューサー



**片山正夫**

公益財団法人セゾン文化財団理事長



**大澤寅雄**

(株)ニッセイ基礎研究所芸術文化プロ  
ジェクト室主任研究員、NPO 法人ア  
ートNPO リンク理事長、NPO 法人ST ス  
ポット横浜監事、九州大学ソーシャル  
アートラボ・アドバイザー

### 3 応募資格

事業の趣旨を理解し、研究意識及び受講意欲を有する方で、次の全てに該当すること。

- (1) 自らの活動の改善に向けて、課題解決策を立案し、具体的な取組を行う意思があること。
- (2) 芸術文化創造環境の発展に貢献する意欲があること。
- (3) 各講座及び最終発表会に出席し、講師及び他の受講生と積極的に交流や議論ができること。
- (4) 課題レポート作成と提出が可能なこと。
- (5) オンライン（同時双方向型）講義のため、マイク・Web カメラ搭載のパソコンとインターネット通信環境（Wi-fi、光回線やケーブルテレビ等）が用意できること。
- (6) 受講後も芸術文化の振興に資する活動に携わる意思があり、終了後3～5年後をめぐりに アーツカウンシル東京が行うアンケート調査等に協力できること。

### 4 受講料・場所等

- (1) 受講料：無料
- (2) 場所：原則オンライン（状況によってアーツカウンシル東京の会議室等を使用する可能性があります。その際は受講生に予めご連絡します）
- (3) 知的財産権：受講生が作成したレポート等成果物の著作権はアーツカウンシル東京に帰属します。なお、レポート等成果物及び各回の講座の様子等は再編集を施してウェブサイト等で公開する予定です。予めご了承ください。
- (4) その他：出席やレポート提出に対する報酬、交通費等の支給はありません。

## 5 応募書類・応募方法等

(1) 応募書類：所定の応募用紙をアーツカウンシル東京ウェブサイトからダウンロード(リンク)し、以下の必要事項を記入してください。

ア 顔写真、氏名、年齢、現住所、Eメールアドレス、連絡先電話番号、現職・肩書、学歴、職歴、免許・資格等の個人情報

イ 志望動機(200字程度)

ウ レポート(1,200字程度)

内容：自らの活動について、客観的な視点を踏まえながら、以下の①～⑥を盛り込んで記述すること。

① 活動概要、②マネジメント体制、③目的・目標、④現時点の成果(外的評価含む)、⑤現時点で感じている課題・問題意識、⑥課題解決のために自らが考えている糸口

(2) 応募方法

[artsacademy@artscouncil-tokyo.jp](mailto:artsacademy@artscouncil-tokyo.jp)宛てに上記応募書類を添付の上、Eメールで応募してください。

(3) 応募期間

2020年8月14日(金)から同年9月14日(月)17時まで

## 6 選考のプロセス及び方法

アーツカウンシル東京が定める選考委員会による書類審査

## 7 選考結果の通知・発表

選考結果は、採否にかかわらず2020年9月24日(木)頃までに、Eメールにて本人に通知します。なお、選考結果については電話等による問合せには応じません。また、アーツカウンシル東京の事業紹介ページにて、受講生の一覧を掲載する予定を予めご了承ください。

## ○オンライン応募説明会

日時：2020年8月26日(水)19:00～20:00

実施方法：オンライン

申込方法：件名を「ACT アーツアカデミー説明会」とし、本文に「氏名(よみがな)、現職・肩書、連絡先メールアドレス」をご記入の上、下記のメールアドレスまでお申し込みください。

E-mail：[artsacademy@artscouncil-tokyo.jp](mailto:artsacademy@artscouncil-tokyo.jp)

※お預かりした個人情報は、本事業の運営及びお知らせのみに使用します。

※メールでのお申し込みは、8月24日(月)12:00までです。その後、メールにてオンライン応募説明会のご案内を送ります。

※手話通訳をご希望の方は、8月18日(火)17:00までにお申し込みください。

### お問い合わせ先

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-28 九段ファーストプレイス8階

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 企画室企画助成課

電話：03-6256-8431 Fax：03-6256-8828

Eメール：[artsacademy@artscouncil-tokyo.jp](mailto:artsacademy@artscouncil-tokyo.jp)

URL：[www.artscouncil-tokyo.jp](http://www.artscouncil-tokyo.jp)